

マクセルグループのフィロソフィー

マクセルグループは2021年に創業60周年を迎えました。創業の精神が受け継がれていく中で、時代の変化に合わせた新たな経営の方向性を示し、めざす方向性を全員で共有するために、2020年7月に「MVVSS(MISSION VISION VALUE SPIRIT SLOGAN)」を制定しました。グループ共通の価値観を共有し、社員・顧客・社会にとってのMaximum Excellenceを創造するというVISIONを実現します。そして、VISION実現の手段として、アナログコア技術を強みに「Technological Value」「Customer Value」「Social Value」の3つのVALUEを提供します。



マクセルが果たすべき使命

MISSION

独創技術のイノベーション追求を通じて持続可能な社会に貢献する

マクセルが実現したい未来

VISION

独自のアナログコア技術で、社員・顧客・社会にとっての
Maximum Excellence を創造する

マクセルが約束する価値・強み

VALUE

マクセルグループは、3つの価値創出を通じて、
すべてのステークホルダーに企業価値の最大化を約束します。

Technological Value 独創性と技術力を誠実に追求し、新たな価値を生みつけます。

Customer Value お客様のニーズに応え、安心・安全な製品を提供するため、期待を超えるモノづくりをつげます。

Social Value 豊かで持続可能な社会の実現のため、世の中の変化をとらえながら、あらゆる課題に挑戦しつげます。

マクセルが大切にしている精神

SPIRIT

社是
「和協一致 仕事に魂を打ち込み 社会に貢献する」

マクセルグループ共通のスローガン

SLOGAN

ブランドスローガン
「Within, the Future」 - 未来の中に、いつもいる -

価値創造の源泉

これがないとマクセルではない“コア”とはなにか。それを私たちは「アナログコア技術」と呼んでいます。「見る」「聴く」「触る」、人の感性はデジタルとアナログの境界を越えた、その先にあります。そして、私たちはこれらの感性を刺激し無限に表現できるのがアナログの世界であると考えています。

アイコンに込めた想い

マクセルのモノづくりの根幹にあるアナログコア技術を印象的なビジュアルとして伝えるためアイコンを開発しました。コーポレートカラーのマクセルレッドをベースに、おのおのの技術を象徴するデザインとしています。



アナログコア技術

やわらかな角のとれた三角形は「アナログコア技術」のシンボルとして「Analog Core」の頭文字である「A」をモチーフとしています。マクセルレッドは未来を切り拓く活力を、ブルーは技術に対する誠実さを示し、3要素に使われるグレーはそれらを際立たせ、調和させるイメージとしました。



混合分散

大きさや性質の異なる素材を均一に混ぜて分散するイメージ



精密塗布

ベース素材に対して精密に厚膜塗布／薄膜塗布するイメージ



高精度成形

緻密な成形物を量産することができる精密金型のイメージ



マクセル「アナログコア技術」解説動画リンク
<https://www.maxell.co.jp/corporate/analogcore.html>



アナログコア技術

アナログコア技術はアナログとデジタルをつなぎ、さらにデジタル技術だけでは到達しえない、複雑で繊細な領域のモノづくりを実現させる、かけがえのない技術です。「混合分散(まぜる)」、「精密塗布(ぬる)」、「高精度成形(かためる)」の3つの技術要素を価値創造の源泉として、独自の機能を高い品質で作り込み、今までになかった製品やサービスを提供していきます。

素材の大きさ、硬さ、液体の粘度にかかわらず均一に混ぜ合わせる技術。均一分散、混合技術の他、塗布に適した状態にする技術なども含む。(塗布に適した状態＝粘度調整など)

提供価値

素材が持つ性質を最大限に発揮させることでより高性能な製品の提供が可能(例：電池容量の最大化など)



混合分散 (まぜる)

分散安定性
無溶剤粘着剤混練
均一造粒プロセス
2Dインク
顔料分散
導電材料均一分散
メカノケミカル処理
希釈

LIB
電極
塗布型セパレーター

高粘度液体均一塗布
塗料流動シミュレーション
微細パターン印刷
薄膜コーティング
耐熱コーティング
コンパウンド均一塗布
ストライプ塗布
間欠塗布
重層塗布
反射防止コート



精密塗布 (ぬる)

あらゆる粘度の粘着剤や塗料を広範囲に均一な厚さで塗る技術。各種コーティング技術の他に、印刷技術やラミネート技術も含む。(塗布後の乾燥技術も含む)

提供価値

均一な塗布でお客様の求める性能の安定性を高めることが可能(例：お客様のご要望に沿った産業工程用テープの提供など)

円筒形CR
耐熱CRコイン
3Dインク

粘着テープ
電磁波吸収部材
全固体電池
ゴムシート

EF²
車載カメラレンズ
LEDヘッドランプレンズ

ペレット化
物理発泡
精密成形
HUD
EB架橋

メッキ
樹脂流動解析
メタルマスク成形
超精密金型
非球面金型成形
自由曲面金型成形

加硫条件制御
リードフレーム
発泡成形品

※赤字は製品、部材
黒字は技術



高精度成形 (かためる)

ディスクやレンズ製造で培った超精密な金型製造技術と精密成形技術。射出成型や金型成形だけでなく、広義の意味でのかたちづくりの技術(配線、充填、架橋)なども含む。

また、限られたスペースに必要な機能を満たすような部品類を組み込む技術、製品形態への加工(切断やスリット)なども含む。

提供価値

お客様からのさまざまな要望に対応することが可能。また高精度な成形により製品の安全性を高めることが可能(例：高精度な車載カメラ用レンズユニットによる安全な自動運転の実現など)

持続的成長の道筋(事業基盤確立→中期経営計画 MEX23)

2020年6月に当社取締役社長に中村啓次が就任し、マクセルグループを持続可能な社会の実現に直接貢献できる「価値創出企業」へと進化させることを社内外に発信しました。

それを実現するために、2020年度は一旦過去を振り返り、事業改革やポートフォリオ改革等を断行し、事業基盤を確立しました。2021年度からは「価値創出企業」の実現に向けて本格的に改革を開始。10年後のありたき姿に向けて年代を3フェーズに分け、第1フェーズ(2021~2023年度)の中期経営計画 MEX23は「価値にこだわる」を方針に 利益再成長を実現化します。

中期経営計画 MEX23(Maximum Excellence 2023)

方針: 「価値にこだわる」

会社単独の事業価値を求めるのではなく、社会~社員まで各視点に合わせた価値を提供し、「なくてはならない会社」をめざします。

持続可能な社会の実現に向けてお客様・株主様から応援をいただき、社員がやりがいを感じながら高付加価値の商品を提供していきます。

持続的成長の道筋(事業基盤確立→ MEX23)

2020年度	第1フェーズ 2021~2023年度	第2フェーズ ~2026年度	第3フェーズ ~2030年度
事業基盤確立	MEX23	新規事業立ち上げ期	10年後にありたき姿

マクセルが提供する価値 Maximum Excellence

社員	価値貢献に見合った報酬、やりがいのある仕事、働きやすい職場： 高い目標に向かって皆が チャレンジできる魅力的な会社
顧客	独創技術のイノベーションによる高付加価値製品・サービス： 高付加価値製品の開発 において、なくてはならない会社
社会	社会課題の解決に向けた製品・サービス・ソリューション： 持続可能な社会の実現 において、なくてはならない会社
株主	投資に対する十分なリターン(株価向上、配当)： 企業価値向上 を通じて、継続的に支援したいと思われる会社

MEX23の戦略と経営目標 詳しくはP10「MEX23」をご覧ください。

MEX23の戦略

①事業/商品を中心としたセグメント成長戦略と②組織/規律を中心とした経営基盤強化戦略の両輪で、常にバランスをジャッジしながら実現します。

セグメント成長戦略	経営基盤強化戦略
事業の新陳代謝の加速 成長事業の販売・収益力強化 注力3分野への集中	ポートフォリオ経営の推進 開発・営業の 組織横断化 財務規律 の徹底

2023年度 経営目標

売上高拡大を優先するのではなく、強固な財務体質を確立し、利益成長・ROIC改善の指標を加え、常にバランスをジャッジしながら推進します。

売上高 1,250億円	営業利益 125億円	営業利益率 10%	ROIC 7%超
--------------------	-------------------	------------------	-----------------

MEX23 注力3分野と成長事業

 ヘルスケア 小型化 長寿命	人びとの健康と安全に暮らせる空間を提供	 コイン形リチウム電池(高信頼CR)	 コイン形リチウム二次電池(CLB)	 建材用テープ	 健康機器	 理美容機器
 5G/IoT 高精度 高品質	人、モノ、情報のつながりにより、新たな価値を創出	 筒形リチウム電池(CR)	 ダイシング用テープ	 産業工程用テープ	 半導体関連組込みシステム	 電設工具
 モビリティ 高信頼 安全性	自動運転やセンシングなどの技術革新を実現	 耐熱コイン形リチウム電池(耐熱CR)	 LEDヘッドランプレンズ	 車載カメラ用レンズユニット		